

「自動走行システムの実現に向けた諸課題と
その解決の方向性に関する調査・検討」の進め方について

平成 26 年 6 月 4 日

自動走行システム推進委員会構成員 自動車会社 5 社

ITS Japan

研究開発計画書において継続議論となっております重要テーマにつきまして、各 WG にて以下の内容の検討を進めることを提案させていただきます。

- (1) 早急に着手すべき研究テーマの決定と開発スケジュールの作成
- (2) 平成 26 年度に実施すべき調査内容の明確化
- (3) 平成 27 年度以降の施策に向けての提案の具体化

【検討テーマ案】

《システム実用化 WG》

- ・地図情報の高度化技術の開発 (参考資料①参照)
- ・(交通事故死者低減・渋滞低減のための)
ミクロ・マクロデータ解析とシミュレーション技術の開発
- ・ドライバーと自動走行システムの役割に関する研究
- ・歩行者通信端末による歩行者の動性把握と歩行者への移動支援の実現

《国際連携 WG》

- ・国際連携の構築
 - －国際的に開かれた研究開発環境の整備 (国際オープン型研究所)
 - －自動走行システムの社会受容性の醸成

《次世代交通 WG》

- ・地域交通マネジメントの高度化
- ・次世代公共道路交通システムの開発
- ・交通弱者・歩行支援システムの開発

以上

参考資料①

地図情報の高度化技術の開発



自動走行システムの実現のためには、‘高度なデジタル地図情報’が不可欠であり、府省連携、官民連携でどう進めるか？検討課題も多い。